

ごあいさつ



経営管理委員会会長
中川 泰宏



代表理事理事長
柚田 勇市

みなさまには、日頃より京都府信用農業協同組合連合会（JAバンク京都信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、府内JAと一体となって、府内農業の発展を金融面から支援させていただくとともに、組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指し、業務展開を図ってまいりました。

この冊子は、平成26年度の当会の事業概況や経営状況、業務内容等を取りまとめ、利用者のみなさまに当会に対するご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、平成26年度のわが国経済は、アベノミクスへの期待感から緩やかな回復基調を辿りましたが、消費増税に伴う物価上昇に家計の所得向上が追い付かず、景気回復の実感を得るには至りませんでした。

一方、農業情勢につきましては、組合員の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加といった農業生産基盤を揺るがす問題が一層深刻化するなか、法人化等による大規模経営体の増加や他業種からの農業分野への参入等、大きな変容を見せています。

このような状況の下、JAバンク京都では、「JAバンク京都実践方策」に掲げた基本目標の実現と経営数値目標の達成に向けた各種取り組みを実践し、「農業メインバンク」、「生活メインバンク」としての機能強化を図りました。

平成27年度は、平成25年度よりスタートさせた「JAバンク京都中期戦略」の総仕上げの年として、その基本目標である「将来に向けて組合員・利用者の満足度と地域での存在感を高め成長し続けるJAバンク京都の実現」に向け、JAとの一体性を高めながら、当会役職員の一人ひとりが積極的に事業に取り組んでまいります。

今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年7月

経営管理委員会会長
代表理事理事長

中川 泰宏
柚田 勇市